

令和３年度魅力ある学校づくり推進事業におけるアンケート
(公立中学校対象)

1 調査の目的

県立高等学校及び中等教育学校を取り巻く教育環境が大きく変化する中で、県立学校振興計画の策定や県立高校等の魅力化推進の参考とするため、県内公立中学校を対象とした本アンケートを実施した。

2 実施時期

令和３年５月18日（火）～６月18日（金）

3 調査の対象

県内市町立中学校 126校

4 調査方法

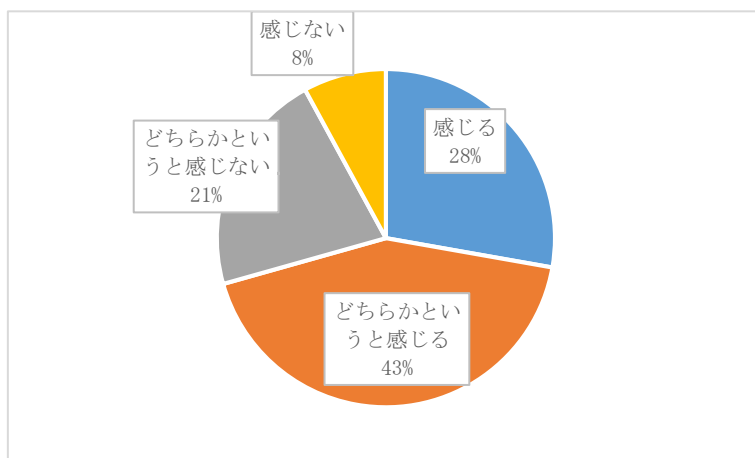
調査対象者が、Googleフォームのアンケートにアクセスし回答

5 回答数、回答率

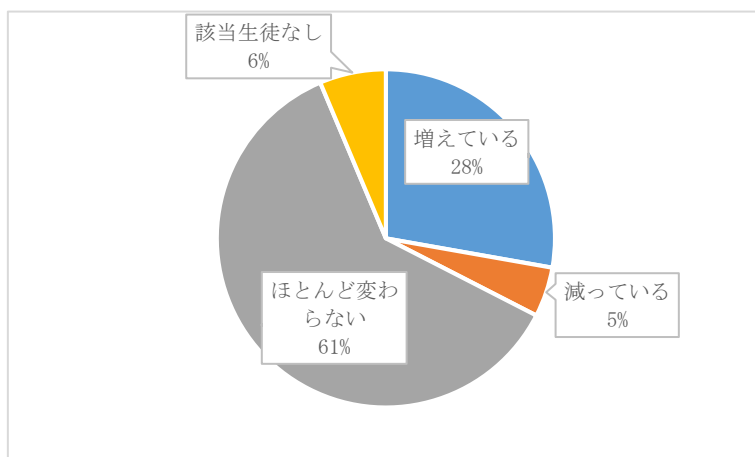
回答数 126校 回答率 100%

アンケート結果（公立中学校対象）

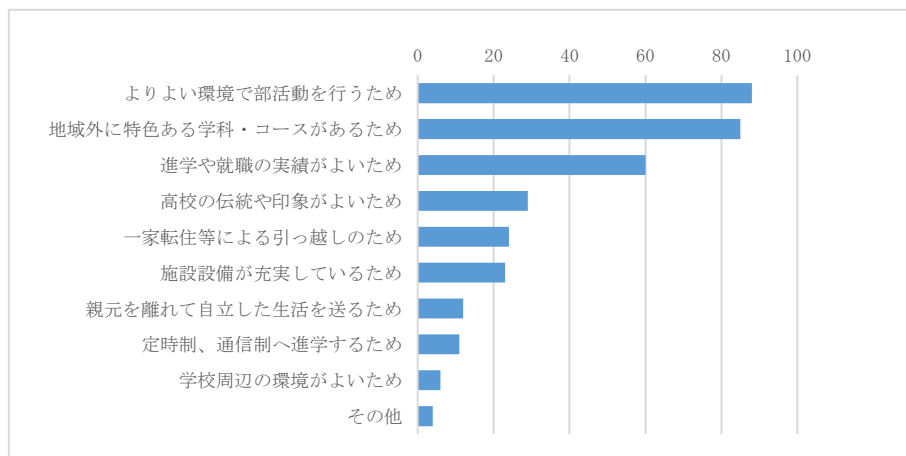
質問１：近年、県立高校入学者選抜の倍率が1.0 倍を下回った状態が続いていることが、生徒の高校入試に臨む姿勢に悪影響を与えていると感じますか。



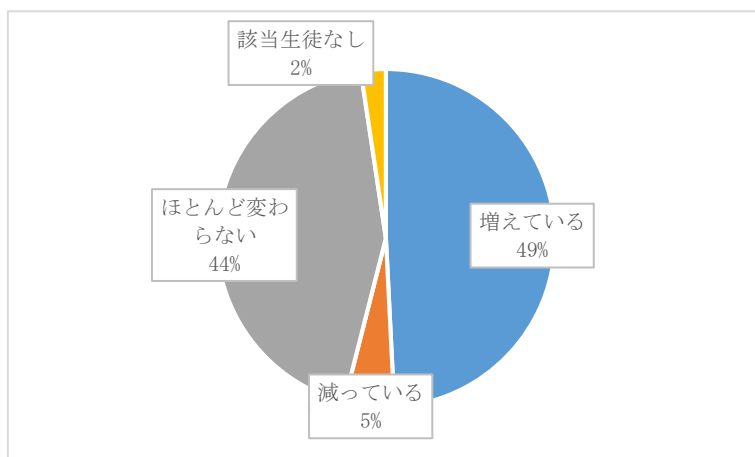
質問２－１：最近５年間の状況から、地域外（地元市町外）の県立高校に進学する生徒の割合は、それ以前の５年間に比べて増えていますか。



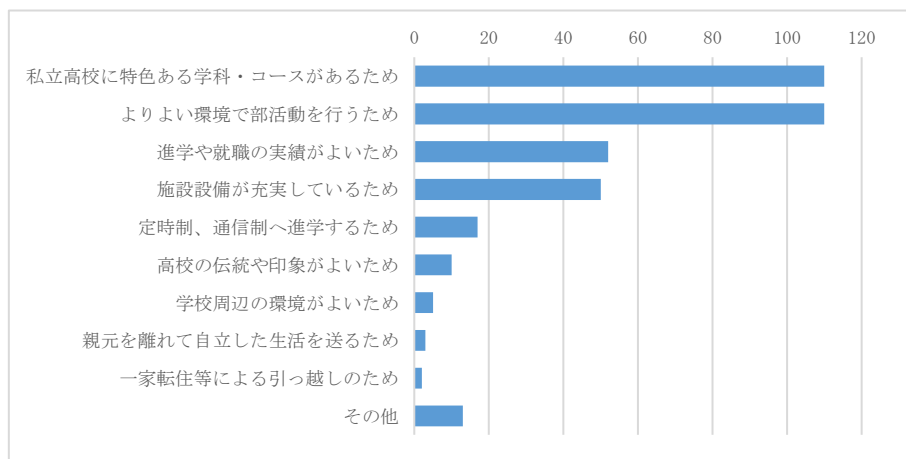
質問２－２：最近５年間、地域外（地元市町外）の県立高校に進学した生徒の主な理由は何ですか。（複数回答可）



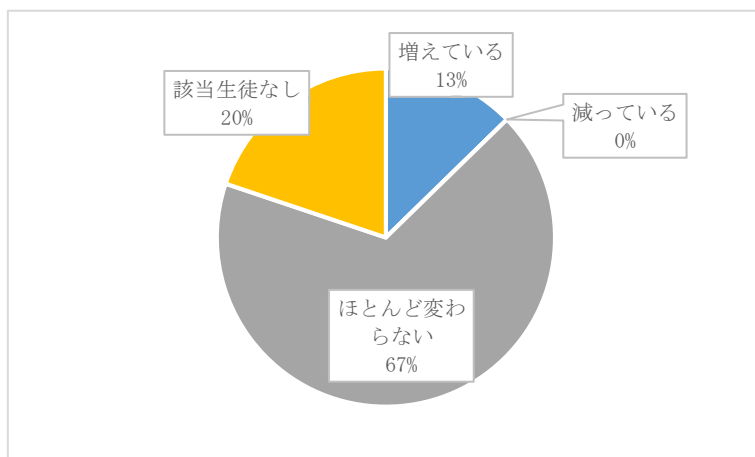
質問３－１：最近５年間の状況から、県内の私立高校に進学する生徒の割合は、それ以前の５年間に比べて増えていますか。



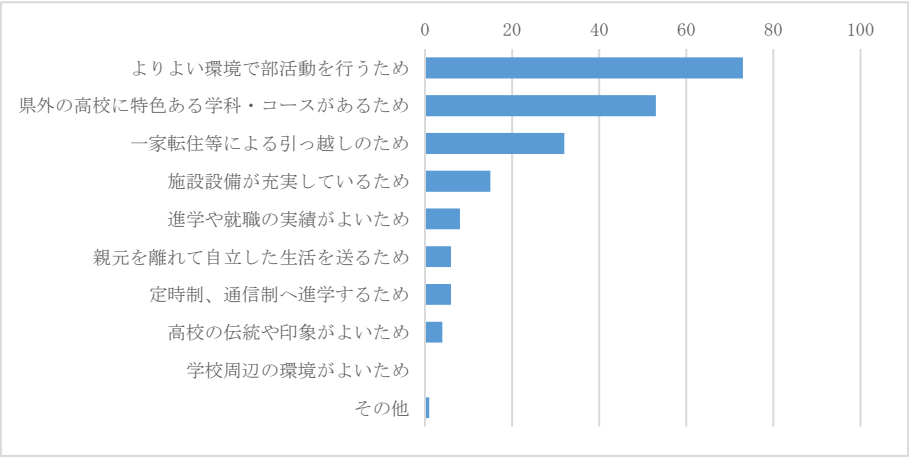
質問３－２：最近５年間、県内の私立高校に進学した生徒の主な理由は何ですか。（複数回答可）



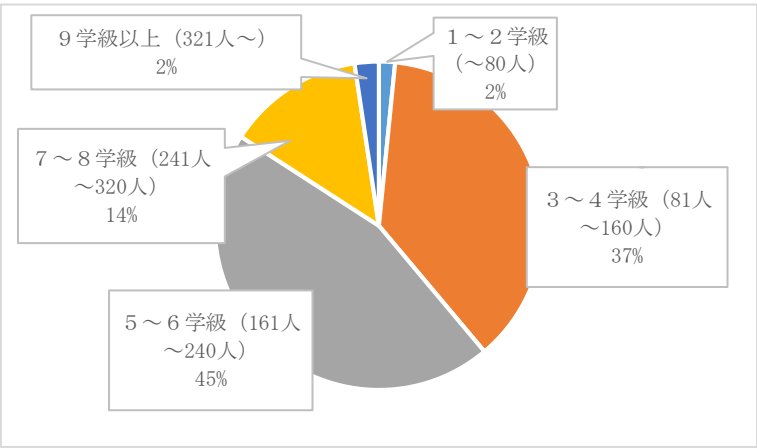
質問４－１：最近５年間の状況から、県外の高校（公立、私立）に進学する生徒の割合は、それ以前の５年間に比べて増えていますか。



質問 4－2：最近 5 年間、県外の高校（公立、私立）に進学した生徒の主な理由は何ですか。（複数回答可）



質問 5：生徒にとって望ましい教育環境を提供するには、県立高校の 1 学年当たりの学級数は何学級程度が適当だと思いますか。



質問 6：県教育委員会では、再編整備計画の策定を進めています。どのようなことに重きを置くべきだと思いますか。

